

シグマ委員会核データ情報／評価専門部会
熱中性子散乱WG45年度第3回会合議事録

日 時 昭和45年8月20日 午後1時30分～5時

場 所 原研東京本部第2会議室

出席者 関谷，大竹，角谷，後藤，坂本，中原，千原，飯島
以上8名

配布資料

1. 热中性子散乱WG45年度第2回会合議事録
2. W.C.Kerr, Phys.Rev., 174, 316 ('68)

議長 角谷 浩享

議事

1. 前回議事録確認

訂正事項なし

2. 一般報告

その後本委員会，幹事会は開かれていないので報告事項はない。本委員会は8月28日，小委員会は明日21日に開かれるとの発言が坂本氏よりあった。

3. 文献調査及び編集

坂本氏より大要次のような報告があった。約1000点，カードにして約1万枚位の文献の整理ができた。未整理になっていたIAEAのトリエステのシンポジウムの文献のチェックは当方で行った。コペンハーゲン・シンポジウムの文献の整理も行った。日本のJournalの整理を系統的には行わなかつたが，最近3年間のものをチェックする。J.N.S.T.の調査も系統的には行ってなかつたので，今後はチェックしたい。パンチ・カードのチェックも始めたい。Key Wordsは未だ検討の餘地があるので，当分No Checkにしておくので，気楽に記入して頂きたい。RとLの区別は

あまり厳密に考えなくて良い。Key Wordとして重要度が高いと思われるものはRに入れておいて良い。前回指摘された問題点については次のようにする。

- 文献番号のプランクは0にする。
- 単体分子を分類に入る。
- Series番号については実態を調査して研究する。
- Material Libraryは検討して整理する。
- ローマ数字はタイトルに入っている場合はチェックされないので、見易く書けばよい。vol. の場合はアラビア数字に直す。
- μ は*を*のカラムに入れ、プランクにしておいて、後で手書きで入れる。
- アポストロフィーには▼を用いる。

次に各自が調査記録した文献の中から特に興味あるものについての簡単な紹介が行われた。それらの文献名を以下に記す。

Kerr, Sjölander ; Self-consistent Field Approach to
Lattice Dynamics, Phys. Rev., B1, 2723 ('70).

Schott ; Inelastic Scattering of Slow Neutron by Solid
and Liquid Hydrogen, Z. Physik, 231, 243 ('70).

Sprevak, Koppel ; Slow Neutron Scattering by Diphenyl,
N.S.E., 35, 80 ('69).

Waseda, Suzuki ; Temperature Dependence of the Structure
Factor of Liquid Mercury, Phys. Lett., 31A, 573
('70)

4. 文献紹介

千原氏より資料2の紹介があった。

5. その他

飯島氏より小委員会の目的、構成について簡単な説明があった。

次回予定

日 時 10月1日(木) 午後1時～5時

場 所 原研東海研